

## 研究協議の記録

### 1. 第1限

いくつかの質問と、「魔王」の自校での取り組みの紹介をいただき、大変参考になった。質問は以下の通りである。

- ・リーダーはどのようにして決めているか。
- ・生徒のワークシートの記述がどのような内容であれば合格か。
- ・声色（音色）の学習は、今後はどうつなげていくか。

「魔王」の取り組みに関しての紹介は以下の通りである。

- ・シューベルトと他の作曲家の「魔王」を比較鑑賞している。
- ・本時での演奏は女声が多かったが、フィッシャー・デイスカウの演奏は秀逸である。ドイツ語と日本語の対訳を作成したり、ピアノ伴奏や調性の変化にも着目させている。

指導助言者からは、音楽科におけるアクティブ・ラーニングのあり方について、意見交換で学びを深めることは大切であるが、そのことによって、音楽が流れる時間が少なくならないように常に配慮する必要があるという助言があった。

### 2. 第2限

- ・リーダーの決め方は？ 授業者>今回は普段の活動の様子を見て、こちらから指名した。生徒の互選で決まる場合もある。
- ・日々の指導で気をつけていることは？ 授>今回の取り組みでは、主に生徒達が主体的に活動するのを支援するスタンスを取ったが、学年や集団の実態の違いに合わせてやり方は変えている。
- ・生徒たちは耳が良い。発声練習はあった方が良かったかも。(意見)

指導助言者>音楽では、録音を聴くなどの「音による確かめ・コミュニケーション」が大切。基礎的な技能の習得への指導は、教師が行うことになるだろう。授業では、それができていた。